

取組の概要

計画作成主体：東吾妻町地域農業再生協議会
 対象品目：花き（スプレーマム）（産地面積10ha）
 主な取組主体：JAあがつま花き生産部会
 竜ヶ鼻スプレーマム分科会員
 成果目標：販売額の10%以上の増加
 基準（H28年度）278百万円
 目標（R2年度）319百万円
 導入施設等：整備事業（低コスト耐候性ハウス）
 生産支援事業（ハウス資材）（温風機・選別機リース）（蒸気土壌消毒機）

群馬県
東吾妻町、中之条、高山村



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

当産地の主力花き品目スプレーマムは、お盆や秋彼岸の需要に対応するため作付け増加を図っているが、露地栽培における風水害や、自然開花での開花遅延が課題となっている。また、施設栽培では温風機の導入遅れによる栽培回転数の低下等が課題である。

そのため、施設栽培を推進することにより、栽培回転数を増加するとともに、施設での完全管理により品質を高め、開花調整を行うことによりお盆やお彼岸の集中出荷を実現し、販売額の増加を目指す。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ①風水害回避と秀品率向上に向けた低コスト耐候性ハウスやパイプハウス等の導入
- ②開花調整や出荷作業軽減のための温風機・選別機の導入
- ③薬剤を使用しないため速やかに直挿し定植できる蒸気土壌消毒機の導入

推進体制

・吾妻農業事務所(県)
 ・東吾妻町・中之条町
 ・高山村
 ・あがつま農協

指導・助言

東吾妻町地域農業再生協議会
 ①計画の策定・管理
 ②取組計画への助言

情報共有

・協議会と取組主体との情報共有(取組状況等)
 ・行政機関(県、町)及び農協によるサポート体制

取組主体
 ①取組計画の作成
 ②取組実施 等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・定期的な栽培講習会、目揃え会の開催
- ・共選共販体制による全箱検品出荷の実施

期待される事業効果

【事業実施による直接効果】

- ①回転数増加による出荷数量の確保
- ②施設導入による品質向上
- ③先端機械導入による栽培面積の増加

【事業実施による間接効果】

- ①出荷量、品質向上による産地ブランドの向上

販売額が増加

～スプレーマムの販売額～

+14.5% 319,143,000円

278,803,000円

H28年度

R2年度



低コスト耐候性ハウス

蒸気土壌消毒機